

資料提供(令和6年9月10日)

〈ひろしまAIサンドボックス〉
課名: イノベーション推進T
担当者: 崎本
電話(内線): 513-(3348)

〈広島AIラボ〉
課名: DX審議官
担当者: 安藤
電話(内線): 513-(2471)

〈ひろしまAI部〉
課名: 産業人材課
担当者: 金田
電話(内線): 513-(3420)

〈全体〉
課名: DX推進T
担当者: 永井
電話(内線): 513-(2471)

「AIで未来を切り開くひろしま」 の取組について

本県は、イノベーション立県として、「ひろしまサンドボックス」や「ユニコーン10」など、これまで様々な分野で、挑戦を後押しする環境づくりを進めてきました。その結果、企業や人材の集積も進みつつあり、「新しいことに挑戦しやすい環境」が整いつつあります。

また、生成AIなどのデジタル技術は急激に進展しており、地域課題の解決に活用することが期待されています。

こうした背景から、今こそ、「HIROSHIMA AI TRIAL～失敗を生かそう～」をスローガンにAIを積極的に活用した様々な取組を実施していくことにより、地域課題の解決と新たな価値を創出するとともに、イノベーション・エコシステムの形成に向けた様々な取組に挑戦し、誰もが希望を持てる未来へ、AIで未来を切り開いていきます。

AI活用をリードする3つの取組

(1) ひろしまAIサンドボックス



アイデア段階も含め、AIを活用したソリューションの開発者を広島に集め、県内企業や地域の課題解決に向け、チャレンジできる環境を提供する。

(具体的支援内容)

開発・実証に係る経費の1/2、最大1億円を県が支援。

(9月議会上程)

(2) 広島AIラボ



AIのポテンシャルを十二分に引き出し、地域課題の解決と付加価値を創出することを目指し、県庁内に「広島AIラボ」を設置。県職員と外部人材が専属的に自らテーマを設定し、新しい価値を生み出すようなAIの活用に向けて自由に探索・研究を行う。

(今後の取組内容)

庁内人材2名で活動開始(DX審議官組織内)。今後、庁外からも人材を募集予定。

(3) ひろしまA I 部



＼政府のAI戦略会議座長／
東大・松尾豊教授が最高顧問に就任



県内高校生が、A Iを理解し、活用する力を身に付ける機会を、産学官連携により提供する新たな部活として活動。社会や企業の課題解決にテクノロジーを活用できる未来の人材の育成を行いつつ、A Iの活用の可能性を、若者の柔軟な発想で考える。

(新たな取組内容)
地元企業とのA Iチャレンジ(企業訪問やワークショップ等)

【参考 URL】

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/264/hiroshimaai.html>